

科目名： 乳児保育Ⅱ		講義・ 演習	担当教員名： 友永粧子
			実務経験： 有
2年次 前期	1単位		選択必修 / 必修
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児期の発達過程と保育士との関係の重要性 ・基本的な生活習慣の獲得と体験と遊びの実践例にみる保育者の援助と基本と実践 (泣く原因・あやす 抱っこ・おんぶ 人見知り 人とのやり取り 連絡帳の記入 散歩の安全 調乳・授乳・離乳食 手づかみ～スプーン～箸 食事を楽しく おむつ替え～排泄 眠りに誘う 午睡 沐浴～清拭 身に付ける清潔 衣服の着脱 園内環境整備と整頓) ・発育・発達に合わせた保育環境の構成の在り方(自然環境・家庭環境・健康及び安全環境) 			
<p>授業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践保育に適應できるよう「乳児の生活と保育」の理論をもとに、実践的な援助方法や保育者の関りを組み合わせ総合的な能力を培う。 ・乳児期の発育・発達を踏まえ、基本的な生活習慣の獲得に向けた保育者の援助方法を各項目に学ぶ。(調乳・授乳・離乳食・おむつ替え・排泄・睡眠・衣服の着脱・清潔等) ・乳児期の発育・発達を踏まえ、望ましい体験と遊びを通して自ら活動できるように必要な援助を実践的に学ぶ。 ・健康及安全の確保された保育所の生活の場において、子どもの心身の機能を高めていくための、様々な環境を整えていけるよう多様な視点を身に付け、実践的に構成できるようになる。また、そのための長期的・短期的、個別計画について作成し具体的に理解する。 			
授業計画			
1	授業オリエンテーション 乳幼児期の発達過程に合わせた望ましい乳児の生活の概要(乳児の健康的な一日)		
2	乳幼児期の発達過程に合わせた望ましい乳児の生活実際① (泣く・あやす・人見知り抱っこ・おんぶ)		
3	乳幼児期の発達過程に合わせた望ましい乳児の生活実際② (人とのやり取り・散歩の安全・四季を元気に過ごす・連絡帳の活用・守秘義務)		
4	乳幼児期の発達過程に合わせた望ましい乳児の生活と援助方法① (調乳・授乳・離乳食・食物アレルギー・手づかみ～スプーン～箸 食事を楽しく)		
5	乳幼児期の発達過程に合わせた望ましい乳児の生活と援助方法② (おむつ替え～排泄 トイレに誘う 衣服の着脱 着替え)		
6	乳幼児期の発達過程に合わせた望ましい乳児の生活と援助方法③ (睡眠 午睡の環境)		
7	乳幼児期の発達過程に合わせた望ましい乳児の生活と援助方法④ (沐浴 清拭 身に付ける清潔)		
8	発育・発達に合わせた保育環境の構成の在り方①(自然環境・家庭環境)		
9	発育・発達に合わせた保育環境の構成の在り方②(健康及び安全環境)		
10	乳児期の発育・発達を踏まえ、望ましい体験と遊び①(0歳～)		
11	乳児期の発育・発達を踏まえ、望ましい体験と遊び②(1歳以上～3歳未満)		
12	乳児保育の計画①(計画の必要性・全体的な計画と指導計画)		
13	乳児保育の計画②(個々の子どもの発達に即した計画)		
14	乳児保育の計画③(個々の子どもの発達に即した計画)		
15	定期試験		
テキスト：演習で学ぶ 乳児保育Ⅱ			
参考書等：家庭的保育の基本と実践 福村出版 平成29年告示 保育所保育指針 厚生労働省			
評価の方法：			
出席状況、受講態度、授業中に行う小テスト、提出課題及び期末試験等により総合的に評価			